

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 1 全体評価</p> <p>【原文】 「一方、年度計画に掲げている外部研究資金の増加について、・・・目標を達成できていないため着実な取組が求められる。」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 ① 昨年9月のリーマン・ショック以降、企業業績は悪化の一途をたどり、国の一般会計税収も落ち込んでいます。この影響は本学の外部研究資金の獲得額にも及んでいますが、研究活動や産学連携活動等により、平成20年度の上半期では前年度同期実績額を上回っており、年間受入額についても平成16年度を上回ることができました。 ② 以上の実績により、未曾有の経済状況下にもかかわらず、本学は平成20事業年度財務諸表データで外部資金比率が国立大学中第3位となっております。（本年3月の中期目標期間に係る評価では、外部資金獲得への取組が「非常に優れている」との高い評価もいただいています。） ③ また、当該年度計画は単に外部資金の額のみでなく、資金獲得に向けた取組も念頭に置いたものであり、その成果も共同研究の実績額及び件数の増となって現れていることから、年度計画を十分に実施していると判断しております。 ④ 以上、評価決定に際しては、このような社会・経済情勢の急激な変化や計画達成に至るプロセスの実績も踏まえ、大局的かつ総合的な判断を切に要望するものです。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 年度計画【140-2】については、その達成に向け、地域金融機関との連携、企業の技術相談への対応等、様々な取組を積極的に行ってきており、外部研究資金の獲得額は減少しているものの、受入件数は平成19年度から平成20年度にかけて増加しており、取組の効果が認められるため。</p> <p>以上の修正に基づき、「財務内容の改善に関する目標」の注目事項に下記事項を追加する。</p> <p>『○ 年度計画に掲げている外部研究資金の増加については、地域金融機関との連携、企業の技術相談への対応等積極的な取組を行い、平成19年度から平成20年度にかけて外部研究資金の獲得件数は増加しているものの、獲得額は減少していることから、外部資金の獲得に向けてさらなる取組が期待される。』</p> <p>また、以上の修正に基づき、「財務内容の改善に関する目標」の評価を下記のとおり修正する。</p> <p>『【評定】中期目標・中期計画の達成に向けて<u>順調</u>に進んでいる (理由) 年度計画の記載15事項すべてが「<u>年度計画を十分に実施している</u>」と認められ、<u>上記の状況等を総合的に勘案したこと</u>による。』</p>

申立ての内容	申立てへの対応
<p>【評価項目】 2 項目別評価 I. 業務運営・財務内容等の状況 (2)財務内容の改善</p> <p>【原文】 「平成20年度の実績のうち、下記の事項に課題がある。・・・（以下、課題事項に係る全記述）」</p> <p>【申立内容】 削除願いたい</p> <p>【理由】 前件（1 ページ目）の申立ての理由に同じであり、厳しい経済情勢下にあるにもかかわらず、積極的な取組及び所定の成果により平成20年度の年度計画は「十分に実施している」と判断しております。</p>	<p>【対応】 意見のとおりとする。</p> <p>【理由】 前述のとおり。</p>